



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA

スポンサー 大阪クラブ DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

2026年
4月
936号
(79期10号)

2025-2026年度 主題

- 西宮クラブ会長 小野勅紘 「メンバーの個性を生かして最大限にクラブ活動を楽しもう！」
- 六甲部メネット委員長 濱崎進一 「協働活動の強化、交流活動の展開」
- 六甲部部长 柳敏晴(神戸西) 「温故知新」 「六甲部にウエルビーイング」
- 西日本区理事 中井信一(奈良) 「世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう！！」
「あなたに寄り添う。あなたを忘れない。」
- アジア太平洋地域会長 田上正(熊本むさし) 「信念と愛をもって行動しよう」
- 国際会長 エドワード・オン(シンガポール) 「信念、愛、行動」

4月 西日本区強調活動 RBM

RBM（ロールバックマラリア）は世界的な取り組みです。国際組織の一員として2030年マラリア撲滅のための献金をお願いします。

丹吾 礼 地域奉仕・環境事業主任（大阪土佐堀）

西宮ワイズメンズクラブ 4月第一例会 西宮 YMCA 職員との交流会・新入職員歓迎会

日時：4月10日(金) 18:30~20:30
場所：上海料理 陳餐閣 阪神西宮駅 徒歩 10分
西宮市戸田町 4-10 ルックヒルズ 2F
ドライバー：廣瀬一雄、濱崎進一

- | | |
|--------------|----|
| 1. 会長挨拶 | 小野 |
| 2. ゲスト職員さん紹介 | 森川 |
| 3. 今月の聖句 | 小野 |
| 4. ワイズニュース | 小野 |
| 5. YMCAニュース | 森川 |
| 6. 会食
乾杯 | 廣瀬 |
| 7. お誕生日のお祝い | |
| 8. 閉会挨拶 | 小野 |

4月誕生日のお祝い

- 10日 濱 浩一メン
- 12日 丸山 悦治メン
- 24日 足立 完子メネット

今月の聖句

「父よ、彼らをお赦し下さい。彼らは、何を
しているのか自分でもわからないのです。」

ルカによる福音書23章34節
小野勅紘選

3月出席状況 (在籍会員数 19名)

第一例会 (13金)	第二例会 (27金)
メン 9名	メン 7名
メネット 0名	メネット 0名
ゲスト 0名	ゲスト 0名
MU 1名	
合計 10名	出席率 53%

ファンド

	3月	累計
ニコニコ	¥2,000	¥29,500
BF	¥2,300	¥19,500

会長 小野 勅紘 直前会長 濱崎 進一 副会長(次期会長) 万本 敬一
 書記 浅野 純一, 山口 吉郎 会計 濱崎 進一 監事 阪根 新, 丸山 悦治 担当主事 森川 俊介

会長メッセージ

暑さ寒さも彼岸まで

会長 小野 勅紘

毎年口癖のように「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、今年の冬は本当に寒さが積もる毎日でしたが、不思議とお彼岸を過ぎると暖かな日差しが降り注ぐようになりました。やれやれと安心していると、ドカッと季節はずれの大雪に悩まされた年もありました。



さて、皆さんは今年はどういう年だったでしょうか。先日の第2回評議会の様子特に各クラブの会長報告をお聞きしていると西宮クラブの会長を務めた私は暗澹たる面持ちでした。多くのクラブが活発に活動されている様子がありありと伺えたのでした。

一方我が西宮クラブは前途が暗澹たる思いです。クラブの勢いは単に数字だけで見えるものではありません。それぞれの各メンバーがどれだけ楽しく活発に活動しているかといっても過言ではないでしょう。かつての西宮クラブは毎年出席率が90%以上をキープしていきいきしていたものでした。年齢的なものもありますが、何と云っても「出席率」だと思われる。その上この6年間、即ちあのホテルヒューイット甲子園で開催した、70周年記念例会で、昨年末に体調不良で退会された重村ワイズと、新進気鋭の清水ワイズが入会して以来、6年間の新規入会が0なのです。

皆さんはこの現実をどう感じておられるでしょうか。濱崎ワイズが、会社で奈良和歌山を担当されていて、西宮の例会の10分前に駆けつけられて全員で拍手をした時のあの感激を忘れません。10分で何が出来るのかという問題ではないでしょう。そこまで信念をもってクラブをまたメンバーを愛しているのかということだと思います。

まずは出席そして充実した例会で学び大いに楽しむ。そういったムードが大切だと思います。ですから、皆さん今ここで我々のクラブを立て直すではありませんか。それにはまず「健康」、そして「笑顔」、毎日が日曜日でリタイア組が多いので参加する時間は充分あると思います。リーダーOBOGが多い西宮には、余島やリーダーの

減少が大いに応えます。そこでどうするか、どこに活路を見出すか。真剣に考えて次期に備えようではありませんか。皆様のお知恵とお力を期待しております。宝塚クラブの「アソシエイト会員制度」も参考に学んでいます。

・日脚伸び影を踏み合う通学路 直行

「日脚」とは主に冬至を過ぎて陽の光が射す時間が長くなることを指す冬の季語です。徐々に春の気配を感じる様子のことです。少しづつ昼の時間が長くなることで、丁度お彼岸の頃に昼と夜の時間が同じになります。（秋彼岸も同じ。お彼岸と言えば春のお彼岸のことで、特に秋は秋彼岸ともいいます）その差し込む太陽の光の長さを意味することもあります。

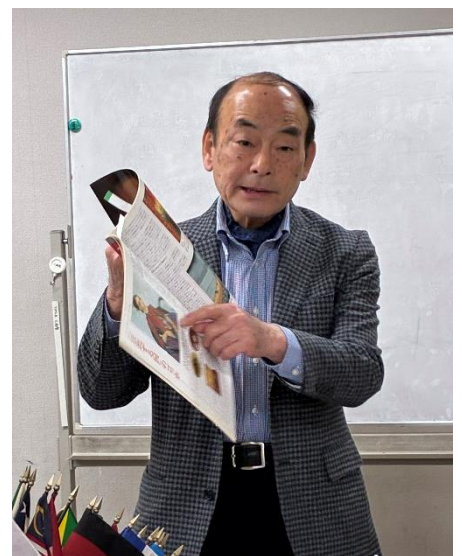
私の自宅の前は丁度通学路になっていて列を作って通学する小学生たちも帰りにはふざけあってその影を踏み合いっこしている様子は微笑ましいものです。「車に気を付けて帰えれよ！」ってね。

3月第一例会報告

山本 常雄

2月のお料理教室に引き続き今月も万本メンにはスピーカーとして、「近代のパリを描いた日本人画家」と題して佐伯祐三画伯に関するの造詣の深いお話をして頂きました。

時は1923年、今から百年余前に東京美術学校（現：東京芸大）を優秀な成績で卒業した佐伯祐三が先達の里見勝蔵を慕ってパリに向かい、里見の師匠で当時パリの美術界を席巻して



いたヴィラマンクに自信作を持って訪問するも全面的に否定され、叱責を受けたことがパリでの出発点になったとか。

≪芸術とは学問ではなく感性であるといったこと

とか》 《当時パリではフォービズムという野生派・原色主義と云われる絵画や手法が流行っていたがヴィラマンクはドラムやマチス等とともにその旗手でもあったとか》 《時代背景として絵の具や画材等の進化発展もあり、部屋の外に出た風景画などが容易に書けるようになったとか》 《もともと音楽家の両親のもとで育ち、自転車競技のレーサーやモンマルトルのカフェでバイオリンを弾いて自由な生活をしていたヴィラマンクがゴッホ展を見て偉く感動し絵画にものめり込んでいったなど》という様なことをパリを中心に活躍した画家やヴィラマンク・佐伯祐三の画集を回覧させながらお話し頂きました。

ご自身も絵を描き、歌を歌い、美味を楽しむと云った自由を謳歌する生活を営んでおられますが、万本メンの元気の原点を垣間見る思いが致しました。

お知らせとして、3月27日(金)～29日(日)に開



催される「きらりと輝くアート展」の準備作業が
3/26(木) 10:00～15:00 搬入・展示作業
3/27(金) 13:30～17:00 受付担当(西宮)
3/29(日) 15:00～17:00 撤去・搬出作業
がありますので、最低人数は確保していますが、出来るだけ多くのワイズにも足を運んで頂けるようお願いすると同時にお知らせの方々にもご吹聴頂きたいとの連絡がありました。

(主催者側としては千名以上の入場者を目標としているとのこと、又土曜日の午後には紙芝居の上演(13:30～15:00～)がありますので、小さなお子様・お孫様同伴でのご入場をお願いしますとのことでした)

参加者は、浅野、小野、濱、濱崎、広瀬、万本、森川、山口、山本の9名でした。

—聖句に寄せて—

小野 勅紘

イエス様は「ドクロ」と呼ばれる「ゴルゴダの丘」の刑場に連れてこられて、十字架に架けられて、昇天されます。そして召天の後、3日後に復活され、40日後に昇天された。3日後の復活を「イースター」(復活祭)と呼ばれて、お祝いし、40日後に昇天されたのを天国に招かれたとして「聖霊降臨節(ペンテコステ)」と呼ばれて共にお祝いします。(この様子は15年位前に公開された映画「パッション」の中で克明に表現されています。これらに異論を唱えた小説や映画化された「ダビンチ・コード」です。最後の晚餐を描いたダビンチの絵画で、イエス様の向かって左に位置するのは「ヨハネ」と言われていますが、どう見ても女性にしか見えません。この方が実はイエス様の妻である「マグダラのマリア」と言われています。マグダラという地は娼婦の館で有名で、マグダラのマリアも娼婦であったのではないかとも言われていますが、実際はそうでないようです。十戒の中に「汝、姦淫するなかれ」という項目があり、イエス様が結婚していて子供までいるというと、これに違反し宣教が成り立ちません。そこで325年ニケーアの宗教公会議で、キリスト教を国教としたローマ帝国のコンスタンチヌス帝は、キリストの神性を維持するためには結婚していないし、子供もいないと決めつけてしまいました。その後聖職者やシスターは結婚出来ないで独身が要求されたのです。それに挑戦したのが、ダビンチコードです。イエスにはマグダラのマリアとの間にサラという娘がいて、フランスのマルセイユからイギリスまで亘って生涯を終えるというものです。

さて、昇天から復活までを付き添ったのは、マグダラのマリア(ダビンチコードではイエスの妻と呼ばれている)他、数人の女性たちです。4月5日はそのお祝いの日である「イースター」です。イエスさまの肉体は死にますが、その命の御心は復活されて我々の中にも生きていと解釈いただ

けばいいでしょうか（劇画「ゴルゴ13」はこれに因んで呼ばれている）因みに私は、復活祭なのに毎年イースターエッグ（俳句での季語「染め玉子」）を配って食するのには納得いきません。

YMCA ニュース

担当主事 森川 俊介

春の陽気は目まぐるしく変わる日々、いかがお過ごしでしょうか？

3月末日用海育成センターでは巣立つ3年生39名の卒所式を行いました。3年生にとってはこれを1つの節目として大事な時間になったように思います。4月からは育成センターを離れて放課後の時間を地域で過ごしていくこととなります。できないことにもチャレンジすること、周りの人と一緒に協力すること、困ったときに「助けて」と周りに頼ること、そしてみんなで楽しむことなど育成センターで過ごす中で得た力や経験、そして共に過ごした仲間とのつながりも大事に、それぞれが力強く過ごして行ってほしいです。また、元気な姿を見せに育成センターにきてくれることを願っています。

4月、西宮YMCAの保育園・育成センターでは、新しい子どもたちを迎えて新年度をスタートさせました。用海育成センターでは新1年生が50人も入所し、新しい生活を始めています。小学校全体で1年生の入学が90人ですので、半数以上の子どもたちが育成センターを利用しており、改めて地域のニーズの高さを感じています。

新年度が始まったばかりの1年生たちは、期待と緊張が入り混じる毎日です。ワクワクする一方で不安になって心細くなること、環境に慣れず落ち着かないこともあるでしょう。2・3年生も「しっかりしなきゃ」と頑張りすぎたり、言葉がきつくなってしまふこともあるかもしれません。そんな一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えていきます。育成センターは異年齢の仲間とともに学び、育ち合う大切な場です。新しい出会いを大切に、みんなで心豊かに成長していけるよう、温かく見守っていきます。

ワイズメンズクラブのみなさまも一緒に応援してもらえると嬉しいです。

今後の予定 [ワイズ/YMCA]

4月10日(金) 第一例会 陳餐閣(阪神西宮)

YMCA 職員との交流会

4月24日(金) 第二例会 西宮YMCA

5月8日(金) 第一例会 西宮YMCA

5月22日(金) 第二例会 西宮YMCA

5月23日(土) 岡山クラブ60周年記念例会

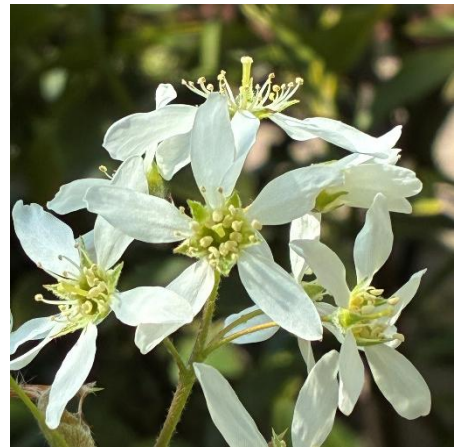
ラヴィール岡山

6月13日(土) 第29回西日本区大会

なら100年会館/ホテル日航奈良

9月10日(木)-12日(日) 第75回国際大会

ペナン(マレーシア)(ドバイから変更)



ジュンベリー

編集後記

ブリテン委員長 山口 吉郎

★満開の芦屋さくらまつりにいそいそと★前日の雨もあがり絶好の花見日和★芦屋クラブのチヂミとビールで春を満喫★コロナ前は対岸のステージのバンド演奏に合わせてカントリーダンス★いつかまたステージが再開されることを願ってます☆

★4月は恒例 YMCA の皆さんとの交流例会★多くの方に参加いただけるようで楽しくなりそうです★

